

## 2.3 主配管

### 2.3.1 水系消火設備主配管

名 称		No. 3, 4 ろ過水タンク（山側ノズル） ～ 電動機駆動消火ポンプ （5号機設備, 6, 7号機共用）
最高使用圧力	MPa	0.98
最高使用温度	℃	66
外 径	mm	318.5, 216.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>（概要）</p> <p>本配管は、No. 3, 4 ろ過水タンク（山側ノズル）と電動機駆動消火ポンプを接続する配管であり、発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、消火系屋外消火栓設備の最高使用圧力と同じ0.98MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、屋内の室温40℃を考慮し、余裕をもって66℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、消防法施行令第11条、第19条及び消防法施行規則第18条で求めている条件で消火設備を同時使用した場合を想定し、個々の水系消火設備で消費する圧力損失に対し、ポンプの揚程が許容できる外径を選定し、318.5mm, 216.3mmとする。</p>		

名 称		No. 3, 4 ろ過水タンク (海側ノズル) ～ ディーゼル駆動消火ポンプ 5A, ディーゼル駆動消火ポンプ 5B (5号機設備, 6, 7号機共用)
最高使用圧力	MPa	0.98
最高使用温度	℃	66
外 径	mm	318.5, 216.3
<p><b>【設定根拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、No. 3, 4 ろ過水タンク (海側ノズル) とディーゼル駆動消火ポンプ 5A, ディーゼル駆動消火ポンプ 5B を接続する配管であり、発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、消火系屋外消火栓設備の最高使用圧力と同じ 0.98MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、屋内の室温 40℃を考慮し、余裕をもって 66℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、消防法施行令第 11 条, 第 19 条及び消防法施行規則第 18 条で求めている条件で消火設備を同時使用した場合を想定し、個々の水系消火設備が必要とする圧力損失に対し、ポンプの揚程が許容できる外径を選定し、318.5mm, 216.3mm とする。</p>		

名 称		給水建屋内分岐点 (消火ポンプ吸込側) ～ 大湊側D/Dポンプ建屋内分岐点 (5号機設備, 6,7号機共用)
最高使用圧力	MPa	0.98
最高使用温度	℃	66
外 径	mm	318.5
<p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、給水建屋内分岐点（消火ポンプ吸込側）と大湊側D/Dポンプ建屋内分岐点を接続する配管であり、発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、消火系屋外消火栓設備の最高使用圧力と同じ0.98MPaとする。</li> <li>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、屋内の室温40℃を考慮し、余裕をもって66℃とする。</li> <li>3. 外径 本配管の外径は、消防法施行令第11条、第19条及び消防法施行規則第18条で求めている条件で消火設備を同時使用した場合を想定し、個々の水系消火設備が必要とする圧力損失に対し、ポンプの揚程が許容できる外径を選定し、318.5mmとする。</li> </ol>		

名 称	ディーゼル駆動消火ポンプ 5A 及び ディーゼル駆動消火ポンプ 5B ～ U43-F023 (5号機設備, 6,7号機共用)	
最高使用圧力	MPa	0.98
最高使用温度	℃	66
外 径	mm	216.3
<p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、ディーゼル駆動消火ポンプ 5A 及びディーゼル駆動消火ポンプ 5B と U43-F023 を接続する配管であり、発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、消火系屋外消火栓設備の最高使用圧力と同じ 0.98MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、屋内の室温 40℃を考慮し、余裕をもって 66℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、消防法施行令第 11 条、第 19 条及び消防法施行規則第 18 条で求めている条件で消火設備を同時使用した場合を想定し、個々の水系消火設備が必要とする圧力損失に対し、ポンプの揚程が許容できる外径を選定し、216.3mm とする。</p>		

名 称		電動機駆動消火ポンプ ～ U43-F023 (5号機設備, 6,7号機共用)
最高使用圧力	MPa	0.98
最高使用温度	℃	66
外 径	mm	216.3
<p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、電動機駆動消火ポンプと U43-F023 を接続する配管であり、発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、消火系屋外消火栓設備の最高使用圧力と同じ 0.98MPa とする。</li> <li>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、屋内の室温 40℃を考慮し、余裕をもって 66℃とする。</li> <li>3. 外径 本配管の外径は、消防法施行令第 11 条、第 19 条及び消防法施行規則第 18 条で求めている条件で消火設備を同時使用した場合を想定し、個々の水系消火設備が必要とする圧力損失に対し、ポンプの揚程が許容できる外径を選定し、216.3mm とする。</li> </ol>		

名 称		給水建屋内分岐点（ポンプ吐出側） ～ U43-F069 及び U43-F096 (5号機設備, 6,7号機共用)
最高使用圧力	MPa	0.98
最高使用温度	℃	66
外 径	mm	216.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、給水建屋内分岐点（ポンプ吐出側）と U43-F069 及び U43-F096 を接続する配管であり、発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、消火系屋外消火栓設備の最高使用圧力と同じ 0.98MPa とする。</li> <li>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、屋内の室温 40℃を考慮し、余裕をもって 66℃とする。</li> <li>3. 外径 本配管の外径は、消防法施行令第 11 条、第 19 条及び消防法施行規則第 18 条で求めている条件で消火設備を同時使用した場合を想定し、個々の水系消火設備が必要とする圧力損失に対し、ポンプの揚程が許容できる外径を選定し、216.3mm とする。</li> </ol>		

名 称		トレンチ内第 1 分岐点 (U43-F022) ～ 廃棄物処理建屋西側分岐点 (6 号機設備, 6, 7 号機共用)
最高使用圧力	MPa	0.98, 1.37
最高使用温度	℃	66
外 径	mm	216.3, 165.2
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概要)</p> <p>本配管は、トレンチ内第 1 分岐点 (U43-F022) と廃棄物処理建屋西側分岐点を接続する配管であり、発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>1.1 最高使用圧力 0.98MPa 本配管のうち屋外に設置する配管の最高使用圧力は、消火系屋外消火栓設備の最高使用圧力と同じ 0.98MPa とする。</p> <p>1.2 最高使用圧力 1.37MPa 本配管のうち屋内に設置する配管の最高使用圧力は、消火系屋内消火栓設備の最高使用圧力と同じ 1.37MPa とする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、屋内の室温 40℃を考慮し、余裕をもって 66℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、消防法施行令第 11 条、第 19 条及び消防法施行規則第 18 条で求めている条件で消火設備を同時使用した場合を想定し、個々の水系消火設備が必要とする圧力損失に対し、ポンプの揚程が許容できる外径を選定し、216.3mm, 165.2mm とする。</p>		

名 称		トレンチ内第 2 分岐点 (U43-F024) ～ トレンチ内第 3 分岐点 (U43-F024) (6 号機設備, 6, 7 号機共用)
最高使用圧力	MPa	0.98
最高使用温度	℃	66
外 径	mm	216.3
<p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、トレンチ内第 2 分岐点 (U43-F024) とトレンチ内第 3 分岐点 (U43-F024) を接続する配管であり、発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、消火系屋外消火栓設備の最高使用圧力と同じ 0.98MPa とする。</li> <li>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、屋内の室温 40℃を考慮し、余裕をもって 66℃とする。</li> <li>3. 外径 本配管の外径は、消防法施行令第 11 条、第 19 条及び消防法施行規則第 18 条で求めている条件で消火設備を同時使用した場合を想定し、個々の水系消火設備が必要とする圧力損失に対し、ポンプの揚程が許容できる外径を選定し、216.3mm とする。</li> </ol>		

名 称		U43-F052 ～ U43-F029 (6号機設備, 6,7号機共用)
最高使用圧力	MPa	0.98
最高使用温度	℃	66
外 径	mm	216.3
<p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は, U43-F052 と U43-F029 を接続する配管であり, 発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は, 消火系屋外消火栓設備の最高使用圧力と同じ0.98MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は, 屋外に設置している配管であることから, 外気温度*を上回る66℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は, 消防法施行令第11条, 第19条及び消防法施行規則第18条で求めている条件で消火設備を同時使用した場合を想定し, 個々の水系消火設備が必要とする圧力損失に対し, ポンプの揚程が許容できる外径を選定し, 216.3mmとする。</p> <p>注記*: 外気温度は, 柏崎市の過去最高気温(37.6℃)を上回る, 柏崎市の観測記録に基づく年超過確率<math>10^{-4}</math>の気温である38.8℃とする。</p>		

名 称		U43-F069 ～ U43-F051 (6,7号機共用)
最高使用圧力	MPa	0.98
最高使用温度	℃	66
外 径	mm	216.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概要)</p> <p>本配管は、U43-F069 と U43-F051 を接続する配管であり、発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、消火系屋外消火栓設備の最高使用圧力と同じ0.98MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、屋外に設置している配管であることから、外気温度*を上回る66℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、消防法施行令第11条、第19条及び消防法施行規則第18条で求めている条件で消火設備を同時使用した場合を想定し、個々の水系消火設備が必要とする圧力損失に対し、ポンプの揚程が許容できる外径を選定し、216.3mmとする。</p> <p>注記*：外気の温度は、柏崎市の過去最高気温(37.6℃)を上回る、柏崎市の観測記録に基づく年超過確率<math>10^{-4}</math>の気温である38.8℃とする。</p>		

名 称		U43-F051 ～ U43-F052 (6, 7号機共用)
最高使用圧力	MPa	0.98
最高使用温度	℃	66
外 径	mm	216.3
<p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、U43-F051 と U43-F052 を接続する配管であり、発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、消火系屋外消火栓設備の最高使用圧力と同じ0.98MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、屋外に設置している配管であることから、外気温度*を上回る66℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、消防法施行令第11条、第19条及び消防法施行規則第18条で求めている条件で消火設備を同時使用した場合を想定し、個々の水系消火設備が必要とする圧力損失に対し、ポンプの揚程が許容できる外径を選定し、216.3mmとする。</p> <p>注記*：外気の温度は、柏崎市の過去最高気温(37.6℃)を上回る、柏崎市の観測記録に基づく年超過確率<math>10^{-4}</math>の気温である38.8℃とする。</p>		

名 称		7号機原子炉建屋供給ライン分岐点 ～ 7号機原子炉建屋内第1分岐点
最高使用圧力	MPa	0.98, 1.37
最高使用温度	℃	66
外 径	mm	114.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、7号機原子炉建屋供給ライン分岐点と7号機原子炉建屋内第1分岐点を接続する配管であり、発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>1.1 最高使用圧力 0.98MPa</p> <p>本配管のうち屋外に設置する配管の最高使用圧力は、消火系屋外消火栓設備の最高使用圧力と同じ0.98MPaとする。</p> <p>1.2 最高使用圧力 1.37MPa</p> <p>本配管のうち屋内に設置する配管の最高使用圧力は、消火系屋内消火栓設備の最高使用圧力と同じ1.37MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、屋内の室温40℃を考慮し、余裕をもって66℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、消防法施行令第11条で求めている条件で消火設備を使用した場合を想定し、消火系屋内消火設備が必要とする圧力損失に対し、ポンプの揚程が許容できる外径を選定し、114.3mmとする。</p>		

名 称		7号機タービン建屋供給ライン分岐点 ～ 7号機タービン建屋内第1分岐点
最高使用圧力	MPa	0.98, 1.37
最高使用温度	℃	66
外 径	mm	114.3
<p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、7号機タービン建屋供給ライン分岐点と7号機タービン建屋内第1分岐点を接続する配管であり、発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>1.1 最高使用圧力 0.98MPa</p> <p>本配管のうち屋外に設置する配管の最高使用圧力は、消火系屋外消火栓設備の最高使用圧力と同じ0.98MPaとする。</p> <p>1.2 最高使用圧力 1.37MPa</p> <p>本配管のうち屋内に設置する配管の最高使用圧力は、消火系屋内消火栓設備の最高使用圧力と同じ1.37MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、屋内の室温40℃を考慮し、余裕をもって66℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、消防法施行令第11条で求めている条件で消火設備を使用した場合を想定し、消火系屋内消火設備が必要とする圧力損失に対し、ポンプの揚程が許容できる外径を選定し、114.3mmとする。</p>		

名 称		5号機原子炉建屋供給ライン分岐点 ～ 5号機 U43-F051 (5号機設備, 6,7号機共用)
最高使用圧力	MPa	0.98, 1.37
最高使用温度	℃	66
外 径	mm	114.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概要)</p> <p>本配管は、5号機原子炉建屋供給ライン分岐点と5号機 U43-F051 を接続する配管であり、発電所内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>1.1 最高使用圧力 0.98MPa 本配管のうち屋外に設置する配管の最高使用圧力は、消火系屋外消火栓設備の最高使用圧力と同じ0.98MPaとする。</p> <p>1.2 最高使用圧力 1.37MPa 本配管のうち屋内に設置する配管の最高使用圧力は、消火系屋内消火栓設備の最高使用圧力と同じ1.37MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、屋内の室温40℃を考慮し、余裕をもって66℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、消防法施行令第11条で求めている条件で消火設備を使用した場合を想定し、消火系屋内消火設備が必要とする圧力損失に対し、ポンプの揚程が許容できる外径を選定し、114.3mmとする。</p>		

2.3.2 二酸化炭素消火設備主配管

名 称		<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> 用 二酸化炭素ポンベ ~ U43-F1101
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	42.7, 48.6, 76.3
<p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、<div style="border: 1px solid black; width: 500px; height: 15px; display: inline-block;"></div>用二酸化炭素ポンベと U43-F1101 を接続する配管であり、<div style="border: 1px solid black; width: 300px; height: 15px; display: inline-block;"></div><div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; display: inline-block;"></div>内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、<div style="border: 1px solid black; width: 450px; height: 15px; display: inline-block;"></div><div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 15px; display: inline-block;"></div>用二酸化炭素ポンベの最高使用圧力と同じ10.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、<div style="border: 1px solid black; width: 450px; height: 15px; display: inline-block;"></div><div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 15px; display: inline-block;"></div>用二酸化炭素ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を1.4MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要な二酸化炭素ガス量*<sup>2</sup>を1分以内*<sup>3</sup>に放出可能であることをメーカーにて確認している42.7mm, 48.6mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第19条第2項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力                  *2 : 消防法施行規則第19条第4項第一号において定められている消火に必要な二酸化炭素ガス量                  *3 : 消防法施行規則第19条第2項第三号において定められている放射時間</p>		

K7 ① V-1-1-5-8-2 R0

名 称	U43-F1101 ~ <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>	
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	42.7, 76.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、U43-F1101 と <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; display: inline-block;"></div> を接続する配管であり、 <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; display: inline-block;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; display: inline-block;"></div> 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力          本配管の最高使用圧力は、 <div style="border: 1px solid black; width: 450px; height: 15px; display: inline-block;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; display: inline-block;"></div> 用二酸化炭素ポンベの最高使用圧力と同じ10.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度          本配管の最高使用温度は、 <div style="border: 1px solid black; width: 450px; height: 15px; display: inline-block;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; display: inline-block;"></div> 用二酸化炭素ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径          本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を1.4MPa以上*1及び消火に必要な二酸化炭素ガス量*2を1分以内*3に放出可能であることをメーカーにて確認している42.7mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第 19 条第 2 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力          *2 : 消防法施行規則第 19 条第 4 項第一号において定められている消火に必要な二酸化炭素ガス量          *3 : 消防法施行規則第 19 条第 2 項第三号において定められている放射時間</p>		

名 称		<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 60px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> 供給ライン分岐点 ~ <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 60px; height: 20px; margin-top: 5px;"></div>
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	76.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">          </span> 供給ライン分岐点と <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">          </span> を接続する配管であり、<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">          </span> 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 500px; height: 15px;"></span></p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">          </span> 用二酸化炭素ポンベの最高使用圧力と同じ10.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 500px; height: 15px;"></span></p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">          </span> 用二酸化炭素ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を1.4MPa以上*1及び消火に必要な二酸化炭素ガス量*2を1分以内*3に放出可能であることをメーカーにて確認している76.3mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第19条第2項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2：消防法施行規則第19条第4項第一号において定められている消火に必要な二酸化炭素ガス量</p> <p>*3：消防法施行規則第19条第2項第三号において定められている放射時間</p>		

名 称		<div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> 供給ライン分岐点 ~ <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	42.7
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; display: inline-block;"></div> 供給ライン分岐点と <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; display: inline-block;"></div> を接続する配管であり、<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; display: inline-block;"></div> 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、<div style="border: 1px solid black; width: 500px; height: 15px; display: inline-block;"></div></p> <p><input type="checkbox"/> 用二酸化炭素ポンベの最高使用圧力と同じ10.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、<div style="border: 1px solid black; width: 500px; height: 15px; display: inline-block;"></div></p> <p><input type="checkbox"/> 用二酸化炭素ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を1.4MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要な二酸化炭素ガス量*<sup>2</sup>を1分以内*<sup>3</sup>に放出可能であることをメーカーにて確認している42.7mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第19条第2項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2：消防法施行規則第19条第4項第一号において定められている消火に必要な二酸化炭素ガス量</p> <p>*3：消防法施行規則第19条第2項第三号において定められている放射時間</p>		

名 称		<div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> 供給ライン分岐点 ~ <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	76.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 50px; height: 15px;"></span> 供給ライン分岐点と <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 50px; height: 15px;"></span> を接続する配管であり、<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 50px; height: 15px;"></span> で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 400px; height: 15px;"></span></p> <p><span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 30px; height: 15px;"></span> 用二酸化炭素ポンベの最高使用圧力と同じ10.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、<span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 400px; height: 15px;"></span></p> <p><span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 30px; height: 15px;"></span> 用二酸化炭素ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を1.4MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要な二酸化炭素ガス量*<sup>2</sup>を1分以内*<sup>3</sup>に放出可能であることをメーカーにて確認している76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第19条第2項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第19条第4項第一号において定められている消火に必要な二酸化炭素ガス量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第19条第2項第三号において定められている放射時間</p>		

名 称		<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> 用 二酸化炭素ポンペ ~ U43-F1106
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	42.7, 48.6, 76.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、<div style="border: 1px solid black; width: 250px; height: 20px; display: inline-block;"></div>用二酸化炭素ポンペとU43-F1106を接続する配管であり、<div style="border: 1px solid black; width: 250px; height: 20px; display: inline-block;"></div>内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、<div style="border: 1px solid black; width: 250px; height: 20px; display: inline-block;"></div>用二酸化炭素ポンペの最高使用圧力と同じ10.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、<div style="border: 1px solid black; width: 250px; height: 20px; display: inline-block;"></div>用二酸化炭素ポンペの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を1.4MPa以上*1及び消火に必要な二酸化炭素ガス量*2を1分以内*3に放出可能であることをメーカーにて確認している42.7mm, 48.6mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第19条第2項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第19条第4項第一号において定められている消火に必要な二酸化炭素ガス量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第19条第2項第三号において定められている放射時間</p>		

名 称	U43-F1106 ~ <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>	
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	42.7, 76.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概要) 本配管は、U43-F1106 と <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; display: inline-block;"></div> を接続する配管であり、<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; display: inline-block;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 15px; display: inline-block;"></div> 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; display: inline-block;"></div> 用二酸化炭素ポンベの最高使用圧力と同じ10.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; display: inline-block;"></div> 用二酸化炭素ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を1.4MPa以上*1及び消火に必要な二酸化炭素ガス量*2を1分以内*3に放出可能であることをメーカーにて確認している42.7mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第19条第2項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2：消防法施行規則第19条第4項第一号において定められている消火に必要な二酸化炭素ガス量 *3：消防法施行規則第19条第2項第三号において定められている放射時間</p>		

名 称	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 60px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> 供給ライン分岐点 ~ <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 60px; height: 20px; margin-left: 100px;"></div>	
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	76.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b>  <b>(概要)</b>          本配管は、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 60px; height: 20px; vertical-align: middle;"></div> 供給ライン分岐点と <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 60px; height: 20px; vertical-align: middle;"></div> を接続する配管であり、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 60px; height: 20px; vertical-align: middle;"></div> 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力          本配管の最高使用圧力は、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 250px; height: 20px; vertical-align: middle;"></div> 用二酸化炭素ポンベの最高使用圧力と同じ10.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度          本配管の最高使用温度は、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 250px; height: 20px; vertical-align: middle;"></div> 用二酸化炭素ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径          本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を1.4MPa以上*1及び消火に必要な二酸化炭素ガス量*2を1分以内*3に放出可能であることをメーカーにて確認している76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第19条第2項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力          *2 : 消防法施行規則第19条第4項第一号において定められている消火に必要な二酸化炭素ガス量          *3 : 消防法施行規則第19条第2項第三号において定められている放射時間</p>		

2.3.3 小空間固定式消火設備主配管

名 称		[ ]用ハロゲン化物ボンベ ～ [ ]
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	89.1, 76.3
<p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、[ ]用ハロゲン化物ボンベと[ ]を接続する配管であり、[ ]内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、[ ]用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、[ ]用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*1及び消火に必要なHFC-227eaガス量*2を10秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		[ ]用ハロゲン化物ポンペ ~ [ ]
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 76.3
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、[ ]用ハロゲン化物ポンペと[ ]を接続する配管であり、[ ]内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、[ ]用ハロゲン化物ポンペの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、[ ]用ハロゲン化物ポンペの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*1及び消火に必要なHFC-227eaガス量*2を10秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div> 用ハロゲン化物ポンベ ~ <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div>
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 76.3
<p><b>【設定根拠】</b>                  (概要)                  本配管は、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div> 用ハロゲン化物ポンベと <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div> を接続する配管であり、  <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div> 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力                  本配管の最高使用圧力は、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div> 用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ                  4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度                  本配管の最高使用温度は、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div> 用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ                  40℃とする。</p> <p>3. 外径                  本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*1及び消火に必要なHFC-227eaガス                  量*2を10秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力                  *2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量                  *3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		[ ]用ハロゲン化物ポンペ ~ [ ]
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 76.3
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、[ ]用ハロゲン化物ポンペと[ ]を接続する配管であり、[ ]内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、[ ]用ハロゲン化物ポンペの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、[ ]用ハロゲン化物ポンペの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		HCU室（東側）用ハロゲン化物ポンペ ～ HCU室（東側）
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 76.3
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、HCU室（東側）用ハロゲン化物ポンペとHCU室（東側）を接続する配管であり、HCU室（東側）内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、HCU室（東側）用ハロゲン化物ポンペの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、HCU室（東側）用ハロゲン化物ポンペの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*1及び消火に必要なHFC-227eaガス量*2を10秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		[ ]用ハロゲン化物ボンベ ～ [ ]
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	89.1, 76.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概要) 本配管は、[ ]用ハロゲン化物ボンベと [ ]を接続する配管であり、[ ]内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、[ ]用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、[ ]用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*1及び消火に必要なHFC-227eaガス量*2を10秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div> 用ハロゲン化物ポンベ ~ <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div>
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 76.3
<p><b>【設定根拠】</b>                  (概要)                  本配管は、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div> 用ハロゲン化物ポンベと <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div> を接続する配管であり、  <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div> 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力                  本配管の最高使用圧力は、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div> 用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ                  4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度                  本配管の最高使用温度は、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div> 用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ                  40℃とする。</p> <p>3. 外径                  本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*1及び消火に必要なHFC-227eaガス                  量*2を10秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力                  *2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量                  *3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		HCU室（西側）用ハロゲン化物ポンペ ～ HCU室（西側）
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	89.1, 76.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、HCU室（西側）用ハロゲン化物ポンペとHCU室（西側）を接続する配管であり、HCU室（西側）内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、HCU室（西側）用ハロゲン化物ポンペの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、HCU室（西側）用ハロゲン化物ポンペの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		HCW(D) サンプ, LCW(A) サンプ室用ハロゲン化物ボンベ ～ HCW(D) サンプ, LCW(A) サンプ室
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	89.1, 76.3, 60.5
<p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は, HCW(D) サンプ, LCW(A) サンプ室用ハロゲン化物ボンベとHCW(D) サンプ, LCW(A) サンプ室を接続する配管であり, HCW(D) サンプ, LCW(A) サンプ室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は, HCW(D) サンプ, LCW(A) サンプ室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は, HCW(D) サンプ, LCW(A) サンプ室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は, 噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mm, 60.5mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		[ ]用ハロゲン化物ポンペ ～ [ ]
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外径	mm	42.7, 34.0
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、[ ]用ハロゲン化物ポンペと[ ]を接続する配管であり、[ ]内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、[ ]用ハロゲン化物ポンペの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、[ ]用ハロゲン化物ポンペの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している42.7mm, 34.0mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		[ ] 用ハロゲン化物ポンベ ～ [ ]
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 76.3
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、[ ] 用ハロゲン化物ポンベと [ ] を接続する配管であり、[ ] 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、[ ] 用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、[ ] 用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*1及び消火に必要なHFC-227eaガス量*2を10秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		RIP・CRD 補修室用ハロゲン化物ポンベ ～ RIP・CRD 補修室
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	114.3
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、RIP・CRD補修室用ハロゲン化物ポンベとRIP・CRD補修室を接続する配管であり、RIP・CRD補修室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、RIP・CRD補修室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、RIP・CRD補修室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している114.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		CRD 交換装置制御室用ハロゲン化物ポンベ ～ CRD 交換装置制御室
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	89.1, 76.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、CRD交換装置制御室用ハロゲン化物ポンベとCRD交換装置制御室を接続する配管であり、CRD交換装置制御室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、CRD交換装置制御室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、CRD交換装置制御室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		HPAC ポンプ室用ハロゲン化物ポンペ ～ HPAC ポンプ室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外径	mm	42.7, 34.0
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、HPACポンプ室用ハロゲン化物ポンペとHPACポンプ室を接続する配管であり、HPACポンプ室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、HPACポンプ室用ハロゲン化物ポンペの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、HPACポンプ室用ハロゲン化物ポンペの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なハロン1301ガス量*<sup>2</sup>を30秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している42.7mm, 34.0mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		TIP 駆動装置電気盤室用ハロゲン化物ポンベ ～ TIP 駆動装置電気盤室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外径	mm	42.7, 34.0
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、TIP駆動装置電気盤室用ハロゲン化物ポンベとTIP駆動装置電気盤室を接続する配管であり、TIP駆動装置電気盤室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、TIP駆動装置電気盤室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、TIP駆動装置電気盤室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なハロン1301ガス量*<sup>2</sup>を30秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している42.7mm, 34.0mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		連絡トレンチ (R/B B2F) 用ハロゲン化物ポンベ ～ 連絡トレンチ (R/B B2F)
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 76.3
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、連絡トレンチ (R/B B2F) 用ハロゲン化物ポンベと連絡トレンチ (R/B B2F) を接続する配管であり、連絡トレンチ (R/B B2F) 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、連絡トレンチ (R/B B2F) 用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、連絡トレンチ (R/B B2F) 用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*1及び消火に必要なHFC-227eaガス量*2を10秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		RIP-ASD(A) (B) (C) (D) (E)室用ハロゲン化物ボンベ ～ RIP-ASD(A) (B) (C) (D) (E)室
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	114.3
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、RIP-ASD(A) (B) (C) (D) (E)室用ハロゲン化物ボンベとRIP-ASD(A) (B) (C) (D) (E)室を接続する配管であり、RIP-ASD(A) (B) (C) (D) (E)室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、RIP-ASD(A) (B) (C) (D) (E)室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、RIP-ASD(A) (B) (C) (D) (E)室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*1及び消火に必要なHFC-227eaガス量*2を10秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している114.3mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 150px; height: 15px;"></div> 用ハロゲン化物ポンベ ~ U53-F811-30-S1, S2, S3
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	114.3, 76.3
<p><b>【設定根拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 150px; height: 15px;"></div> 用ハロゲン化物ポンベとU53-F811-30-S1, S2, S3を接続する配管であり、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 150px; height: 15px;"></div> 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 150px; height: 15px;"></div> 用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 150px; height: 15px;"></div> 用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している114.3mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		U53-F811-30-S1 ~ [ ]
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	114.3, 89.1
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、U53-F811-30-S1と [ ] を接続する配管であり [ ] [ ] 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、 [ ] 用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、 [ ] 用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している114.3mm, 89.1mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称	U53-F811-30-S2 ～ <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>	
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	76.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概要) 本配管は、U53-F811-30-S2と <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; display: inline-block;"></div> を接続する配管であり、 <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; display: inline-block;"></div> 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; display: inline-block;"></div> 用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; display: inline-block;"></div> 用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している76.3mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		U53-F811-30-S3 ～ [ ]
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	114.3, 89.1
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、U53-F811-30-S3と [ ] を接続する配管であり、 [ ] [ ] 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、 [ ] 用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、 [ ] 用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*1及び消火に必要なHFC-227eaガス量*2を10秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している114.3mm, 89.1mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		RIP-ASD(F)(G)(H)(J)(K)室用ハロゲン化物ボンベ ～ RIP-ASD(F)(G)(H)(J)(K)室
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	114.3
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、RIP-ASD(F)(G)(H)(J)(K)室用ハロゲン化物ボンベとRIP-ASD(F)(G)(H)(J)(K)室を接続する配管であり、RIP-ASD(F)(G)(H)(J)(K)室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、RIP-ASD(F)(G)(H)(J)(K)室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、RIP-ASD(F)(G)(H)(J)(K)室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*1及び消火に必要なHFC-227eaガス量*2を10秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している114.3mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		□用ハロゲン化物ポンベ ～ □
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 76.3
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、□用ハロゲン化物ポンベと□を接続する配管であり、□内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、□用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、□用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		多重伝送盤室用ハロゲン化物ポンペ ～ 多重伝送盤室
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 48.6
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、多重伝送盤室用ハロゲン化物ポンペと多重伝送盤室を接続する配管であり、多重伝送盤室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、多重伝送盤室用ハロゲン化物ポンペの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、多重伝送盤室用ハロゲン化物ポンペの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 48.6mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称	クリーンアクセス通路 (R-B1F-21) 用ハロゲン化物ポンペ ～ クリーンアクセス通路 (R-B1F-21)	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外径	mm	60.5, 48.6, 42.7, 34.0
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、クリーンアクセス通路 (R-B1F-21) 用ハロゲン化物ポンペとクリーンアクセス通路 (R-B1F-21) を接続する配管であり、クリーンアクセス通路 (R-B1F-21) 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、クリーンアクセス通路 (R-B1F-21) 用ハロゲン化物ポンペの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、クリーンアクセス通路 (R-B1F-21) 用ハロゲン化物ポンペの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している60.5mm, 48.6mm, 42.7mm, 34.0mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		連絡トレンチ (R/B B1F) 用ハロゲン化物ポンペ ～ 連絡トレンチ (R/B B1F)
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 76.3
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、連絡トレンチ (R/B B1F) 用ハロゲン化物ポンペと連絡トレンチ (R/B B1F) を接続する配管であり、連絡トレンチ (R/B B1F) 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、連絡トレンチ (R/B B1F) 用ハロゲン化物ポンペの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、連絡トレンチ (R/B B1F) 用ハロゲン化物ポンペの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		R/B 地上 1 階通路(A)用ハロゲン化物ポンペ ～ R/B 地上 1 階通路(A)
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外径	mm	48.6, 42.7
<p>【設定根拠】 (概要)</p> <p>本配管は、R/B地上1階通路(A)用ハロゲン化物ポンペとR/B地上1階通路(A)を接続する配管であり、R/B地上1階通路(A)内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、R/B地上1階通路(A)用ハロゲン化物ポンペの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、R/B地上1階通路(A)用ハロゲン化物ポンペの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なハロン1301ガス量*<sup>2</sup>を30秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している48.6mm, 42.7mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		[ ]用ハロゲン化物ポンベ ~ [ ]
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	89.1, 60.5, 48.6
<p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、[ ]用ハロゲン化物ポンベと[ ]を接続する配管であり、[ ]内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、[ ]用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、[ ]用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*1及び消火に必要なHFC-227eaガス量*2を10秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 60.5mm, 48.6mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div> 用ハロゲン化物ポンペ ~ <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div>
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 76.3
<p><b>【設定根拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div>用ハロゲン化物ポンペと<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div>を接続する配管であり、  <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div>内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力                  本配管の最高使用圧力は、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div>用ハロゲン化物ポンペの最高使用圧力と同じ                  4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度                  本配管の最高使用温度は、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div>用ハロゲン化物ポンペの最高使用温度と同じ                  40℃とする。</p> <p>3. 外径                  本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*1及び消火に必要なHFC-227eaガス                  量*2を10秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの                  放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要な                  ハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		電気ペネ室 (R/B 1F 東) 用ハロゲン化物ポンベ ～ 電気ペネ室 (R/B 1F 東)
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 76.3
<p>【設定根拠】 (概要)</p> <p>本配管は、電気ペネ室 (R/B 1F 東) 用ハロゲン化物ポンベと電気ペネ室 (R/B 1F 東) を接続する配管であり、電気ペネ室 (R/B 1F 東) 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、電気ペネ室 (R/B 1F 東) 用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、電気ペネ室 (R/B 1F 東) 用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		除染パン室用ハロゲン化物ボンベ ～ 除染パン室
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 76.3, 48.6
<p>【設定根拠】 (概要)</p> <p>本配管は、除染パン室用ハロゲン化物ボンベと除染パン室を接続する配管であり、<b>除染パン室</b>内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、除染パン室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、除染パン室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*1及び消火に必要なHFC-227eaガス量*2を10秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mm, 48.6mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		FCS 再結合装置室用ハロゲン化物ポンベ ～ FCS 再結合装置室
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 76.3
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、FCS再結合装置室用ハロゲン化物ポンベとFCS再結合装置室を接続する配管であり、FCS再結合装置室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、FCS再結合装置室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、FCS再結合装置室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		[ ] 用ハロゲン化物ポンペ ~ [ ]
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 76.3
<p>【設定根拠】 (概要) 本配管は [ ] 用ハロゲン化物ポンペと [ ] を接続する配管であり、 [ ] [ ] 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、 [ ] 用ハロゲン化物ポンペの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、 [ ] 用ハロゲン化物ポンペの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*1及び消火に必要なHFC-227eaガス量*2を10秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		SLC ペネ, 電気ペネ室用ハロゲン化物ボンベ ～ SLC ペネ, 電気ペネ室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外径	mm	42.7
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は, SLCペネ, 電気ペネ室用ハロゲン化物ボンベとSLCペネ, 電気ペネ室を接続する配管であり, SLCペネ, 電気ペネ室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は, SLCペネ, 電気ペネ室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は, SLCペネ, 電気ペネ室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は, 噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なハロン1301ガス量*<sup>2</sup>を30秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している42.7mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		CUW プリコートポンプ・タンク室用ハロゲン化物ポンペ ～ CUW プリコートポンプ・タンク室
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 60.5
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、CUWプリコートポンプ・タンク室用ハロゲン化物ポンペとCUWプリコートポンプ・タンク室を接続する配管であり、CUWプリコートポンプ・タンク室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、CUWプリコートポンプ・タンク室用ハロゲン化物ポンペの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、CUWプリコートポンプ・タンク室用ハロゲン化物ポンペの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*1及び消火に必要なHFC-227eaガス量*2を10秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 60.5mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		事故後サンプリング操作盤室用ハロゲン化物ボンベ ～ 事故後サンプリング操作盤室
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 48.6
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、事故後サンプリング操作盤室用ハロゲン化物ボンベと事故後サンプリング操作盤室を接続する配管であり、事故後サンプリング操作盤室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、事故後サンプリング操作盤室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、事故後サンプリング操作盤室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 48.6mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		A系北側連絡通路用ハロゲン化物ポンベ ～ A系北側連絡通路
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 76.3
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、A系北側連絡通路用ハロゲン化物ポンベとA系北側連絡通路を接続する配管であり、<b>A系北側連絡通路</b>内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、A系北側連絡通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、A系北側連絡通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称	電気ペネ室 (R/B 2F 北) 用ハロゲン化物ポンベ ～ 電気ペネ室 (R/B 2F 北)	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外径	mm	42.7, 34.0
<p><b>【設定根拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、電気ペネ室 (R/B 2F 北) 用ハロゲン化物ポンベと電気ペネ室 (R/B 2F 北) を接続する配管であり、電気ペネ室 (R/B 2F 北) 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、電気ペネ室 (R/B 2F 北) 用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、電気ペネ室 (R/B 2F 北) 用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なハロン1301ガス量*<sup>2</sup>を30秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している42.7mm, 34.0mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		C系北側連絡通路用ハロゲン化物ポンベ ～ C系北側連絡通路
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	89.1, 76.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、C系北側連絡通路用ハロゲン化物ポンベとC系北側連絡通路を接続する配管であり、<b>C系北側連絡通路</b>内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、C系北側連絡通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、C系北側連絡通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		格納容器所員用エアロック室用ハロゲン化物ポンペ ～ 格納容器所員用エアロック室
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 48.6
<p><b>【設定根拠】</b> (概要)</p> <p>本配管は、格納容器所員用エアロック室用ハロゲン化物ポンペと格納容器所員用エアロック室を接続する配管であり、格納容器所員用エアロック室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、格納容器所員用エアロック室用ハロゲン化物ポンペの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、格納容器所員用エアロック室用ハロゲン化物ポンペの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 48.6mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		B系南側連絡通路用ハロゲン化物ポンベ ～ B系南側連絡通路
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	114.3, 76.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概要) 本配管は、B系南側連絡通路用ハロゲン化物ポンベとB系南側連絡通路を接続する配管であり、 B系南側連絡通路内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、B系南側連絡通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、B系南側連絡通路用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス 量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している114.3mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの 放射圧力 *2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要な ハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		電気ペネ室 (R/B 2F 南) 用ハロゲン化物ポンペ ～ 電気ペネ室 (R/B 2F 南)
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 76.3, 48.6
<p><b>【設定根拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、電気ペネ室 (R/B 2F 南) 用ハロゲン化物ポンペと電気ペネ室 (R/B 2F 南) を接続する配管であり、電気ペネ室 (R/B 2F 南) 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、電気ペネ室 (R/B 2F 南) 用ハロゲン化物ポンペの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、電気ペネ室 (R/B 2F 南) 用ハロゲン化物ポンペの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mm, 48.6mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		MSIV・SRV ラッピング室用ハロゲン化物ボンベ ～ MSIV・SRV ラッピング室
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	89.1, 76.3
<p>【設 定 根 拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、MSIV・SRVラッピング室用ハロゲン化物ボンベとMSIV・SRVラッピング室を接続する配管であり、MSIV・SRVラッピング室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、MSIV・SRVラッピング室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、MSIV・SRVラッピング室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 1.2em; vertical-align: middle;"></div> 用ハロゲン化物ポンベ ~ <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 1.2em; vertical-align: middle;"></div>
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	114.3, 89.1
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 1.2em; vertical-align: middle;"></div>用ハロゲン化物ポンベと<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 1.2em; vertical-align: middle;"></div>を接続する配管であり、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 1.2em; vertical-align: middle;"></div>  <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 1.2em; vertical-align: middle;"></div>内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 1.2em; vertical-align: middle;"></div>用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 1.2em; vertical-align: middle;"></div>用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している114.3mm, 89.1mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div> 用ハロゲン化物ポンベ ~ <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div>
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 76.3
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div>用ハロゲン化物ポンベと<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div>を接続する配管であり、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div>内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div>用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></div>用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*1及び消火に必要なHFC-227eaガス量*2を10秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		[ ]用ハロゲン化物ポンベ ～ [ ]
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	114.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、[ ]用ハロゲン化物ポンベと[ ]を接続する配管であり、[ ]内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、[ ]用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、[ ]用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している114.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		SGTS 室用ハロゲン化物ポンベ ～ SGTS 室
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	114.3, 89.1
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、SGTS室用ハロゲン化物ポンベとSGTS室を接続する配管であり、SGTS室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、SGTS室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、SGTS室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している114.3mm, 89.1mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		MS トンネル室空調機室用ハロゲン化物ポンベ ～ MS トンネル室空調機室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外径	mm	42.7
<p><b>【設定根拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、MSトンネル室空調機室用ハロゲン化物ポンベとMSトンネル室空調機室を接続する配管であり、MSトンネル室空調機室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、MSトンネル室空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、MSトンネル室空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なハロン1301ガス量*<sup>2</sup>を30秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している42.7mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		北側 FMCRD 制御盤室用ハロゲン化物ポンベ ～ 北側 FMCRD 制御盤室
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、北側FMCRD制御盤室用ハロゲン化物ポンベと北側FMCRD制御盤室を接続する配管であり、北側FMCRD制御盤室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、北側FMCRD制御盤室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、北側FMCRD制御盤室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		DG(C)/Z送風機室用ハロゲン化物ポンベ ～ DG(C)/Z送風機室
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 76.3
<p><b>【設定根拠】</b> (概要) 本配管は、DG(C)/Z送風機室用ハロゲン化物ポンベとDG(C)/Z送風機室を接続する配管であり、 DG(C)/Z送風機室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、DG(C)/Z送風機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、DG(C)/Z送風機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス 量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの 放射圧力 *2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要な ハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		DG(B)/Z送風機室用ハロゲン化物ポンベ ～ DG(B)/Z送風機室
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 76.3
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、DG(B)/Z送風機室用ハロゲン化物ポンベとDG(B)/Z送風機室を接続する配管であり、 DG(B)/Z送風機室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、DG(B)/Z送風機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ 4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、DG(B)/Z送風機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ 40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*1及び消火に必要なHFC-227eaガス 量*2を10秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの 放射圧力 *2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要な ハロゲン化物消火剤量 *3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		南側 FMCRD 制御盤室用ハロゲン化物ポンベ ～ 南側 FMCRD 制御盤室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外径	mm	60.5, 48.6, 42.7
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、南側FMCRD制御盤室用ハロゲン化物ポンベと南側FMCRD制御盤室を接続する配管であり、南側FMCRD制御盤室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、南側FMCRD制御盤室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、南側FMCRD制御盤室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なハロン1301ガス量*<sup>2</sup>を30秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している60.5mm, 48.6mm, 42.7mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		ASD(A)/Z送風機室, AMバッテリー室用ハロゲン化物ボンベ ～ ASD(A)/Z送風機室, AMバッテリー室
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	114.3, 89.1, 48.6
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概要)</p> <p>本配管は, ASD(A)/Z送風機室, AMバッテリー室用ハロゲン化物ボンベとASD(A)/Z送風機室, AMバッテリー室を接続する配管であり, ASD(A)/Z送風機室, AMバッテリー室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は, ASD(A)/Z送風機室, AMバッテリー室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は, ASD(A)/Z送風機室, AMバッテリー室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は, 噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*1及び消火に必要なHFC-227eaガス量*2を10秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している114.3mm, 89.1mm, 48.6mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名 称		DG(C)/Z 排風機室用ハロゲン化物ポンベ ～ DG(C)/Z 排風機室
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	89.1, 76.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、DG(C)/Z排風機室用ハロゲン化物ポンベとDG(C)/Z排風機室を接続する配管であり、<b>DG(C)/Z排風機室内</b>で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、DG(C)/Z排風機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、DG(C)/Z排風機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		ASD(B)/Z送風機室用ハロゲン化物ポンペ ～ ASD(B)/Z送風機室
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	114.3, 89.1
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、ASD(B)/Z送風機室用ハロゲン化物ポンペとASD(B)/Z送風機室を接続する配管であり、ASD(B)/Z送風機室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、ASD(B)/Z送風機室用ハロゲン化物ポンペの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、ASD(B)/Z送風機室用ハロゲン化物ポンペの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している114.3mm, 89.1mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		[ ] , RFPT 主油タンク (A) 室前室用ハロゲン化物ポンベ [ ] , RFPT 主油タンク (A) 室前室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外径	mm	76.3, 60.5, 48.6, 42.7
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は, [ ] , RFPT主油タンク (A) 室前室用ハロゲン化物ポンベと [ ] [ ] , RFPT主油タンク (A) 室前室を接続する配管であり, [ ] [ ] , RFPT主油タンク (A) 室前室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は, [ ] , RFPT主油タンク (A) 室前室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は, [ ] , RFPT主油タンク (A) 室前室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は, 噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している76.3mm, 60.5mm, 48.6mm, 42.7mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間</p>		

名称	<div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> 用ハロゲン化物ボンベ ~ <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>	
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	76.3, 60.5, 48.6, 42.7
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、<div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 15px; display: inline-block;"></div>用ハロゲン化物ボンベと <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 15px; display: inline-block;"></div>を接続する配管であり、<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; display: inline-block;"></div>内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力                  本配管の最高使用圧力は、<div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 15px; display: inline-block;"></div>用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度                  本配管の最高使用温度は、<div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 15px; display: inline-block;"></div>用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径                  本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なハロン1301ガス量*<sup>2</sup>を30秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している76.3mm, 60.5mm, 48.6mm, 42.7mmとする。</p> <p style="margin-left: 40px;">注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p style="margin-left: 40px;">*2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p style="margin-left: 40px;">*3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		IA・SA 空調機室用ハロゲン化物ポンベ ～ IA・SA 空調機室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	42.7, 34.0
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、IA・SA空調機室用ハロゲン化物ポンベとIA・SA空調機室を接続する配管であり、IA・SA空調機室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、IA・SA空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、IA・SA空調機室用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なハロン1301ガス量*<sup>2</sup>を30秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している42.7mm, 34.0mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		TCW ポンプ・熱交換器室用ハロゲン化物ボンベ ～ TCW ポンプ・熱交換器室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	89.1, 76.3, 48.6, 42.7
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概要)</p> <p>本配管は、TCWポンプ・熱交換器室用ハロゲン化物ボンベとTCWポンプ・熱交換器室を接続する配管であり、TCWポンプ・熱交換器室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、TCWポンプ・熱交換器室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、TCWポンプ・熱交換器室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なハロン1301ガス量*<sup>2</sup>を30秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 76.3mm, 48.6mm, 42.7mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		[ ]用ハロゲン化物ボンベ ～ [ ]
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外径	mm	89.1, 48.6, 42.7
<p><b>【設定根拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、[ ]用ハロゲン化物ボンベと[ ]を接続する配管であり、[ ]内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、[ ]用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、[ ]用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 48.6mm, 42.7mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		[ ] 用ハロゲン化物ポンベ ～ [ ]
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	114.3, 76.3
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概要) 本配管は、[ ] 用ハロゲン化物ポンベと [ ] を接続する配管であり、[ ] 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、[ ] 用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、[ ] 用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*1及び消火に必要なHFC-227eaガス量*2を10秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している114.3mm, 76.3mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		配管室 (H/A B2F 北西) 用ハロゲン化物ポンペ ～ 配管室 (H/A B2F 北西)
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	42.7, 34.0
<p><b>【設 定 根 拠】</b> (概要) 本配管は、配管室 (H/A B2F 北西) 用ハロゲン化物ポンペと配管室 (H/A B2F 北西) を接続する配管であり、配管室 (H/A B2F 北西) 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、配管室 (H/A B2F 北西) 用ハロゲン化物ポンペの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、配管室 (H/A B2F 北西) 用ハロゲン化物ポンペの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*1及び消火に必要なハロン1301ガス量*2を30秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している42.7mm, 34.0mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		[ ]用ハロゲン化物ボンベ ～ [ ]
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	114.3, 89.1
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、[ ]用ハロゲン化物ボンベと[ ]を接続する配管であり、[ ]内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、[ ]用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、[ ]用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なHFC-227eaガス量*<sup>2</sup>を10秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している114.3mm, 89.1mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		[ ]用ハロゲン化物ポンペ ～ [ ]
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	89.1, 60.5, 48.6, 42.7, 34.0
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、[ ]用ハロゲン化物ポンペと[ ]を接続する配管であり、[ ]内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、[ ]用ハロゲン化物ポンペの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、[ ]用ハロゲン化物ポンペの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なハロン1301ガス量*<sup>2</sup>を30秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している89.1mm, 60.5mm, 48.6mm, 42.7mm, 34.0mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div> 用ハロゲン化物ポンベ ~ <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; margin: 0 auto;"></div>
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	76.3, 60.5, 48.6, 42.7
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; display: inline-block;"></div>用ハロゲン化物ポンベと<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; display: inline-block;"></div>を接続する配管であり、<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; display: inline-block;"></div>内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力                  本配管の最高使用圧力は、<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; display: inline-block;"></div>用ハロゲン化物ポンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度                  本配管の最高使用温度は、<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 15px; display: inline-block;"></div>用ハロゲン化物ポンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径                  本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なハロン1301ガス量*<sup>2</sup>を30秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している76.3mm, 60.5mm, 48.6mm, 42.7mmとする。</p> <p style="margin-left: 40px;">注記*1 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p style="margin-left: 40px;">*2 : 消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p style="margin-left: 40px;">*3 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		[ ]用ハロゲン化物ボンベ ～ [ ]
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	48.6, 42.7
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、[ ]用ハロゲン化物ボンベと[ ]を接続する配管であり、[ ]内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、[ ]用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、[ ]用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なハロン1301ガス量*<sup>2</sup>を30秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している48.6mm, 42.7mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		[ ] 用ハロゲン化物ボンベ ～ [ ]
最高使用圧力	MPa	4.8
最高使用温度	℃	40
外 径	mm	114.3, 89.1
<p><b>【設 定 根 拠】</b></p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、[ ] 用ハロゲン化物ボンベと [ ] を接続する配管であり、[ ] 内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力 本配管の最高使用圧力は、[ ] 用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ4.8MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度 本配管の最高使用温度は、[ ] 用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径 本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.3MPa以上*1及び消火に必要なHFC-227eaガス量*2を10秒以内*3に放射可能であることをメーカーにて確認している114.3mm, 89.1mmとする。</p> <p>注記*1 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力 *2 : 消防法施行規則第 20 条第 3 項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量 *3 : 消防法施行規則第 20 条第 1 項第三号において定められている放射時間</p>		

名称		7号機 HECW 冷凍機 (B) (D) 室用ハロゲン化物ボンベ ～ 7号機 HECW 冷凍機 (B) (D) 室
最高使用圧力	MPa	5.2
最高使用温度	℃	40
外径	mm	60.5, 42.7, 34.0
<p>【設定根拠】</p> <p>(概要)</p> <p>本配管は、7号機HECW冷凍機(B)(D)室用ハロゲン化物ボンベと7号機HECW冷凍機(B)(D)室を接続する配管であり、7号機HECW冷凍機(B)(D)室内で発生した火災を早期に消火するために設置する。</p> <p>1. 最高使用圧力</p> <p>本配管の最高使用圧力は、7号機HECW冷凍機(B)(D)室用ハロゲン化物ボンベの最高使用圧力と同じ5.2MPaとする。</p> <p>2. 最高使用温度</p> <p>本配管の最高使用温度は、7号機HECW冷凍機(B)(D)室用ハロゲン化物ボンベの最高使用温度と同じ40℃とする。</p> <p>3. 外径</p> <p>本配管の外径は、噴射ヘッドの放射圧力を0.9MPa以上*<sup>1</sup>及び消火に必要なハロン1301ガス量*<sup>2</sup>を30秒以内*<sup>3</sup>に放射可能であることをメーカーにて確認している60.5mm, 42.7mm, 34.0mmとする。</p> <p>注記*1：消防法施行規則第20条第1項第二号において定められている噴射ヘッドの放射圧力</p> <p>*2：消防法施行規則第20条第3項第一号において定められている消火に必要なハロゲン化物消火剤量</p> <p>*3：消防法施行規則第20条第1項第三号において定められている放射時間</p>		